

(様式3)

# 平成25年度 実施計画表

教育総務部

## 1. 基礎情報

		担当課名	教育総務課
事務事業名	スーパーエコスクール実証事業		
事業区分	新規事業	施策体系	2 子育てしやすく、だれもが成長できるまち
会計区分	一般会計		(2) 学校教育の充実
補助金等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ( <input checked="" type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> その他 ) <input type="checkbox"/> 無	取組No.	(2) 学校教育
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他 ( )		31
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	名称	環境教育等による環境保全の取り組みに関する法律
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度(平成 年度) <input type="checkbox"/> 単年度繰返(平成 年度～ 継続) <input checked="" type="checkbox"/> 複数年(平成24年度～平成26年度)		

## 2. 事業の概要

現状・課題	「環境教育等による環境保全の取り組みの促進に関する法律」において、学校施設を環境教育の教材として活用することや、環境への負荷を低減するため、校舎等の施設整備の際に環境対策を行うなど適切な配慮が求められている。			
目的・意図 (期待できる効果)	[当該事業を実施することによって何をめざすか] 「スーパーエコスクール実証事業」を実施することで、有利な補助を受けて省エネ施設への改修が可能となる。また、学校だけでなく保護者や地域住民の理解・協力を得ながら進めることができ、他の小中学校へのモデルとなることができる。 (H24.8.8 文部科学省の「スーパーエコスクール実証事業」への採択決定) なお、鹿ノ台中学校は、昭和56年開校(築31年)であるため、老朽改修を併せて行うものである。			
事業の概要 (全体計画)	事業の対象	鹿ノ台中学校生徒、教職員 (対象数: 300人 )		
	総事業費(平成24年度～平成26年度)	622,233千円		
各年度の概要	3カ年事業	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	1年目(H24)	ワークショップの実施に係 る謝礼金、印刷製本費、消 耗品費、委託料等 ※全額国庫負担	エコ改修及び老朽工事設計委 託料	エコ改修工事費 (太陽光発電、断熱、高効 率照明、衛生設備等を想 定) 303,000千円  老朽改修工事 150,000千円×2棟
	2年目(H25)			
	3年目(H26)			
事業費A(千円)	4,233	15,000	603,000	
国・県支出金	4,233		218,166	
起債			346,300	
その他の特財				
一般財源		15,000	38,534	
職員従事者数(人・年)B	0.2	0.1	0.2	0
人件費C=B×6600千円	1,320	660	1,320	
概算コスト A+C	5,553	15,660	604,320	

## 3. 指標

評価指標名(単位)		H24年度実績値	H25年度目標値	H26年度目標値	H27年度目標値	将来目標 (平成 年度)
※代替指標は成果指標が設定できない場合のみ記入すること						
活動指標	( )					
成果指標	3年間での進捗率 ( % )	30	60	100		
代替指標※	( )					

## 4. その他特記事項

「学校施設環境改善交付金」 太陽光 補助率 1/2 (予定) エコ改修、老朽改修 補助率 1/3 (予定)
-------------------------------------------------------------

事業名称：スーパーエコスクール実証事業

それぞれの項目についてアルファベットの中から選択し、一次評価欄に記入するとともに、その理由などを記入して下さい。

		一次	二次
必要性	<b>①根拠法令などに基づいて、市が実施しなければならないか？</b> A. 実施が義務づけられている B. 努力規定などがある C. 実施は義務づけられていない <small>(法令名および条項番号を記入して下さい。ただし「C」の場合は空欄で可)</small>	C	C
	<b>②当該事業に対する市民ニーズがあるか？</b> A. 明確で高いニーズがある B. ニーズがある C. ニーズはない <small>(アンケート調査など、具体的にどのくらいの量の市民ニーズがあるのか記入して下さい)</small> 省エネ、環境保全が重要な命題である昨今、潜在的ニーズは高いと考えられる。	B	B
	<b>③当該事業を実施しない場合、市民にどのくらいの影響が出るのか？</b> A. 影響は大きい B. ある程度の影響がある C. さほど影響はない <small>[理由](市民や対象者への影響の大きさについて判断した根拠などを記入して下さい)</small> すぐに直接影響があるものではない。	C	C
有効性	<b>④当該事業を実施した場合の効果は？</b> A. 大きな効果が期待できる B. ある程度の効果が期待できる C. さほど効果は大きくない <small>[理由](指標などを踏まえた上で、効果(成果)の大きさを判断した根拠などを記入して下さい)</small> 本市におけるエコ改修とそれに関連する環境教育のモデルとなりうる。	A	A
	<b>⑤実施した場合に考えられる問題点はあるか？</b> A. 問題点はほとんどない B. 問題点が多少ある C. 問題点がある <small>[理由](事業を実施することによって生じる新たな問題点などを記入して下さい)</small> 特に問題はない。	A	A
	<b>⑥他都市と比較して当該事業のサービス対象者やサービス水準は妥当であるか？</b> A. 妥当である B. 概ね妥当である C. 一部過不足があり、将来的に改善の余地がある <small>[理由](妥当と判断した根拠などを記入して下さい。また他市の事例などの資料を添付してください。)</small> 将来的に必要とされる改修である。	B	B
効率性	<b>⑦目的(成果)を達成するために、当該事業に投入する事業費は妥当であるか？</b> A. 標準よりも安価である・事業費は大きくない B. 標準的である C. 標準より高めである <small>[理由](成果指標や事業費、職員従事者数などを踏まえた上で、判断した根拠などを記入して下さい)</small> 将来的に必要とされる改修である。	B	B
	<b>⑧維持管理費など、当該事業を継続する上で毎年どのくらいの費用が必要か？</b> A. ほとんど必要ない B. 一定金額が必要であるが、削減はできない C. 将来的に削減可能である <small>[理由](必要となる金額を明記した上で、当該金額が必要な理由を記入して下さい)</small> ほとんど必要ない。	A	A
	<b>⑨市民との協働や業務委託の範囲など、実施手法は適切か？</b> A. 現在の手法が適切である B. 実施一定期間後あるいは今後は部分的に他の手法も考えられる C. 実施一定期間後あるいは今後は全面的に他の手法も考えられる <small>[理由](現在の実施方法が適している、あるいは委託できると判断した根拠などを記入して下さい)</small> ワークショップ等で市民との協働が義務付けられている。	A	A

◆2次評価のコメント

◆事業実施に当たっての留意点